

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」長野駅前校

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|---|--|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | ・パーティションを使用し、個々の活動空間を確保している。・利用者一人ひとりのニーズに応じた教室内の環境整備に努めています。 | より安心したり集中したりしやすい環境となるよう配慮してまいります。 |
| | ② | 職員の配置数は適切である | ○ | | 法令が必要とされているよりも、1名多い指導員を配置しております。 | これまでの配置人数+1名の職員配置できるよう準備中です。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | ・視覚掲示物を有効活用し、活動の決まり事をイラストや記号、文字などで表し、一目で見て伝わるように工夫しております。・教室内に段差はなく、バリアフリーとなっております。 | 活動動線の見直しを行い、お子様にとってよりわかりやすいものになるよう、今後もお子様の様子や特性に合わせて対応してまいります。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | コロナ感染予防の為、空気清浄機の稼働や常時空気入れ替えを行っております。 | 感染の予防に重きを置いて、定期時間での消毒の実施や、使用玩具・教材消毒も丁寧にやってまいります。 |
| え | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | ○ | | ・日ごろから職員間の情報共有を密に行い、定期的な会議のみならず、随時行事の計画、事前準備、事後反省を行い、今後の業務改善に努めております。 | 研修の成果を活かしていきながら、指導員・児発管ともに考えあっていく中での、お子様・保護者様のニーズに寄り添っていきけるよう努めてまいります。 |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | 保護者様アンケートを基に、会議を開き今後の改善に努めてまいります。 | 保護者からの発信をしやすい工夫について検討してまいります。 |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | ・ホームページ等を通じて、情報開示を行うとともに、教室内にアンケート結果を掲示し、保護者や利用者がいつでも見ることができるよう工夫しています。 | 今年度開設しました『インスタ』での情報発信を行い、当事業所を垣間見れる環境を整備していきます。 |

| | | | | | | |
|----------|---|--|---|--|--|--|
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | ○ | | ・事業所改善につなげるため、今後行えるように努めてまいります。 | ・事業所改善につなげるため、今後行えるように努めてまいります。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 毎月、発達支援研究所主催の研修に参加している。長野県・長野市虐待研修等も参加。 | 今後も、様々な分野の研修の機会を設けていきたい。 |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | ・毎回の支援後のフィードバックや電話やメール等で日頃より保護者と連絡を密に取り合い、個々のニーズを把握できるように努めています。・また、家庭の様子、園や学校の様子の情報共有、今後の事業所での取り組み等を検討するために、定期的に保護者面談を行っています。 | アセスメントを行っていく際には、保育園や幼稚園、家での姿も参考にしていきたいようにします。 |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | きらりのアセスメントツールを使用しています。 | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | 児童発達支援ガイドラインに基づき、お子様の成長発達段階に合わせた計画を具体的に提示していけるようにしています。 | より具体的な支援内容を設定することができるよう、事業所内での支援者会議を丁寧におこなってきたい。 |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | ・各個別支援計画が指導員に分かりやすく伝わるように添付・指示を工夫している | 児童発達支援計画に沿った支援を行えるよう、事業所内で話し合いの場を設けていきたい。 |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | ・職員間で、日々情報交換を密に行い、共通理解を深めていくことで、支援プログラムの立案をチームで行っております。 | チーム内の連携がうまく行く為のサポートを行っていくようにします。 |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | お子さんの成長発達や心因的な様子に合わせて変更したりしている。 | プログラムに広がりを持てるよう研修を受ける機会を設けていきます。 |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | 小集団療育活動を定期的で開催し、その中での子育てを大切にしています。 | 今後も、小集団活動も大切に取り組んでいきます。 |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 朝礼で細かく確認を行うようにしています。 | 今後も、丁寧な確認作業を行っていくようにします。 |

| | | | | | | |
|--------------|--|---|---|--------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 支援後に、振り返りや情報共有を行っています。 | 今後も丁寧な振り返りを行うことを心がけていきます。 |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 所定の記録サイトに記録を行っています。 | 支援の検証に繋がるよう、記録を行っています。 |
| | ⑳ | 定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | 最長でも、6か月に1回のモニタリングを実施しています。 | モニタリングに限らず、必要に合わせて行っていきます。 |
| 関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 支援計画者がお子さんの支援担当者として情報共有を行い参加しています。 | 今後も同様に取り組んでまいります。 |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | お子さんの状況から必要性に応じて対応を行っております。 | 地域との連携を大切に取り組んでまいります。 |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | | 該当なし | 該当なし |
| | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | | 該当なし | 該当なし |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 登録者数の半数のお子さんが通う幼稚園・保育園と連携しております。 | 今後も、園や就学先に学校との連携を行っていききたい。 |
| | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 移行支援者会議に参加したり、直接やり取りしたりしています。 | 移行という大切な時の支援を、今後も丁寧に行っていききたい。 |
| | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 圏域専門員・療育コーディネーター等からの助言をいただいております。 | 今後も助言をいただいたり、機会があれば研修にも参加したりしていききたい。 |
| | ㉘ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | ○ | 地域の保育園との交流を希望しているがコロナ渦の為、実現が難しい。 | 感染の心配がなくなったところで、改めて計画していききたい。 |
| | ㉙ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | | 子ども部会に積極的に参加しています。 | 今後も機会があれば、参加していききたいです。 |
| | ㉚ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | FBの時間に情報共有を行っている。 | 共通の理解を持つことが出来るように支援してまいります。 |
| ㉛ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | ○ | | 不定期ではあるが、ペアレント・トレーニングを開催しています。 | 今後も、ニーズに合わせて開催できるよう準備してまいります。 | |

| | | | | | | |
|------------|----|--|---|---|--|---|
| 保護者への説明責任等 | ③② | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | 契約時に詳しく説明をし、体制が変わることがある時にはその都度説明を行っております。 | 保護者様からの質問には随時対応していただけるように致します。 |
| | ③③ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | 支援計画の説明を丁寧に行い、同意を得ております。その際には、支援のねらいが伝わりやすいように説明を心がけております。 | 支援のねらいがどこにあるのかということが伝わるように、説明を心がけるようにしてまいります。 |
| | ③④ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | 相談支援事業としても、なにげない時にも相談・助言を行っております。 | 定期的な相談日の設定を希望される保護者様には、そのような対応も行っていきたい。 |
| | ③⑤ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | 保護者様同士が情報を得たり、気分転換ができるよう「ママカフェ」「保護者会」を開催したりしております。 | 保護者同士での関りの機会を今後も設けてまいります。 |
| | ③⑥ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | 保護者様からの相談依頼に対して、迅速に対応を行っております。 | 今後は、お子さんからの相談を受ける機会も意識していきたいと思います。 |
| | ③⑦ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | 教室の保護者ラインや、インスタやホームページを通じて発信している。 | 今後も出来る限り、発信を行っていきたい。 |
| | ③⑧ | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | 鍵付き書庫にて保管しています。 | 個人情報の取り扱いに関する研修を開催していく。 |
| | ③⑨ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | 伝わりやすい方法を探していき、対応を行っております。 | ケースに合わせて、柔軟な対応を心がけていきます。 |
| 非常時等の対応 | ④① | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | 各種マニュアルを策定し、周知と訓練を実施してきました。 | 今後も、年度始めに、計画を立て実施してまいります。 |
| | ④② | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | 1か月に1回の防災訓練を行っております。利用者様との避難訓練も実施しております。 | 今後も、年度始めに、計画を立て実施してまいります。 |
| | ④③ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | アセスメント時に確認を行っております。 | 年度始めに情報を更新していただけるようにしていきたいです。 |
| | ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | 該当児童なし | 該当児童なし |
| | ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | ヒヤリハット記録書を作成し、情報を職員間で共有しております。 | 事例を知ることで、発生の防止に繋げていきます。 |
| | ④⑥ | | | ○ | | |
| | ④⑦ | | | ○ | | |

| | | | | | |
|----|--|---|--|--------------------------------------|---|
| ④6 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 長野県・長野市の虐待研修を受けています。 | 今後も、県や市が開催する虐待研修に積極的に参加してまいります。 |
| ④7 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | 想定される状況について、計画書に記載し、保護者様へ説明を行っております。 | 今後も計画書への記載を行い、緊急時の対応について事前説明を行っていくようにします。 |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」長野駅前校

保護者等数（児童数）：17 回収数：17 割合：100%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|---|----|-----------|-----|-------|--------------------------------------|--|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 17 | 0 | 0 | 0 | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 17 | 0 | 0 | 0 | ・先生が1対1でしっかり見てくれるのでありがたい。 | 今後も個別での療育を大切にしながら、小集団での活動も大切に行っていけるよう、職員一同で取り組んでまいります。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 17 | 0 | 0 | 0 | | |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 17 | 0 | 0 | 0 | | |
| 適切な支援の提供 | ⑤ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 17 | 0 | 0 | 0 | ・私が子どもの伸ばしてあげたいと思う部分をしっかりプログラムしてくれる。 | お子様の成長発達のサポートを今後も駅前校職員一同で臨んでまいります。 |
| | ⑥ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 17 | 0 | 0 | 0 | | |
| | ⑦ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 17 | 0 | 0 | 0 | | |
| | ⑧ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 17 | 0 | 0 | 0 | ・子どもの進み具合を見て次の段階に進んでくれる。 | お子様の成長段階の見極めを丁寧に行い、次へのプロセスを大切に取組んでまいります。 |
| | ⑨ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 10 | 1 | 3 | 3 | ・我が子が活動する機会がなく、わからない。 | 現在コロナ渦にあり、交流計画がない状況にあります。感染の心配がなくなりましたら活動を検討していきたいです。 |

| | | | | | | | | | |
|----------|-------|--|--|----|---|---|--|---|--|
| 保護者への説明等 | ⑩ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 17 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | ⑪ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 17 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | ⑫ | 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか | 16 | 1 | 0 | 0 | ・年齢が低くまだ明確な困り感はなく受ける機会がないが、受けられると思う。 | ペアレントトレーニングを行う機会を設けて行けるように致します。 | |
| | ⑬ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 17 | 0 | 0 | 0 | ・今日の様子を共有、親からの子どもの様子ともに伝えている。 | フィードバック時に、保護者様からいただく情報もとても貴重で、支援プログラム作成にあたり、貴重な情報として取り入れております。ありがとうございます。 | |
| | ⑭ | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 16 | 11 | 0 | 0 | ・育児以外にも私生活のことでも助言してくれる。 ・先生から気づいたことを積極的に教えてほしい。 | 様々な困り感に、これまで以上に寄り添っていきることが出来るように、相談会を設けたりして、対応を行ってまいります。 | |
| | ⑮ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 15 | 1 | 0 | 1 | ・参加したことがないためわからない。 | 保護者会やママカフェの開催を予定してまいります。 | |
| | ⑯ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 16 | 1 | 0 | 0 | | | |
| | ⑰ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 16 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | ⑱ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 16 | 0 | 0 | 1 | ・Instagramを見ている。 ・Instagramを見ていない為、わからない | インスタ以外でも情報を得ることが出来るように、保護者様用のラインにて情報を発信する機会を持つていくように致します。 | |
| | ⑲ | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 17 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 非常時等の | ⑳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 17 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 17 | 0 | 0 | 0 | | |

| | | | | | | | | |
|-----|---|------------------|----|---|---|---|---|---|
| 対応 | | | | | | | | |
| 満足度 | ② | 子どもは通所を楽しみにしているか | 17 | 0 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しみにしている。 ・通所する日は朝から「今日はきらりだ！」と楽しみにしている。 | <p>ありがとうございます。</p> <p>私たち、長野駅前校の職員一同のなによりの励みのお言葉をいただきました。今後も、楽しみにしていただけるよう努めてまいります。</p> |
| | ③ | 事業所の支援に満足しているか | 17 | 0 | 0 | 0 | | |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。